

施策番号	食品ロス 1	食品ロス 2	食品ロス 3	食品ロス 4	食品ロス 5	食品ロス 6	食品ロス 7	食品ロス 8	食品ロス 9	
事業実施状況	現在の取り組み	現在の取り組み	現在の取り組み	現在の取り組み	現在の取り組み	現在の取り組み	現在の取り組み	現在の取り組み	現在の取り組み	
区分	ごみの減量に関する周知啓発	ごみの減量に関する周知啓発	食育を通じた周知啓発	食育を通じた周知啓発	食育を通じた周知啓発	事業者へのアプローチ	発生した食品ロス対策	発生した食品ロス対策	発生した食品ロス対策	
事業名	食品ロス削減に向けた情報提供	防災備蓄品等の適切な管理	食育推進計画の推進	園児への食育	児童生徒への食育	ふなR連携事業者認定	フードドライブ	防災備蓄品（食料・飲料水）の有効活用		
担当課	資源循環課	危機管理課	地域保健課	保育運営課	保健体育課	廃棄物指導課	資源循環課	危機管理課	資源循環課	
令和5年度	計画	周知媒体数：18媒体	周知延回数：10回	周知延回数：150回	園児への指導 保護者への情報提供 公立保育園27園	食育日より等による周知 各校1回	ふなR連携事業の見直し	フードドライブ実施回数：3回（常設を除く）	適宜防災備蓄品の利活用	啓発物品の活用：6イベント等
	内容	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロスに関する説明や食品ロス削減に関する取り組みについて広く情報提供を行う。 10月が「食品ロス削減月間」であり食品ロス削減の取り組みを推進することを周知する。 【周知内容】 <ul style="list-style-type: none"> 食品ロス発生量 消費期限、賞味期限の違い 食品ロス削減に向けた取り組みの紹介（フードドライブ）等 【周知媒体】 <ul style="list-style-type: none"> 市HP【常時】 広報ふなばし【6. 10. 2月】 リサちゃんだよりプラス【10月】 環境パネル展示【6月】 SNS(X)【6. 10. 2月】 デジタルサイネージ【6. 10. 2月】 ふなっぶ【6. 10. 2月】 まごみ分別アプリ(さんあ〜る)【6. 10. 2月】 ふなばし情報メール【6. 10. 2月】 ※本庁舎入口メカフォト【10月】 ※公共施設での食品ロス削減パネル展【10月】 ※民間施設での食品ロス削減パネル展【10月】 ※民間施設でのポスター掲示【10月】 ※民間施設でのポスター掲示【10月】 ※You Tube【10月〜】 ※ケーブルテレビ（JCOM）【10月】 ※地域情報サイト（まいなび）【10月】 ※食育展パネル【6月】 	<ul style="list-style-type: none"> 食料品等の消費期限の管理を徹底し、普段の生活で消費する、「ローリングストック法」をうまく活用するなどをホームページ等で周知・啓発する。 【周知内容】 <ul style="list-style-type: none"> ローリングストック法による備蓄方法の周知 市内・自主防災組織に対して期限切れ前の備蓄品利活用に関する案内 【周知媒体】 <ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ（随時） 広報ふなばし（10月） 市公式X及び危機管理課Facebook（10月） 自主防災組織へ案内（5月） ふなばしポータル掲示板へ掲載（随時） 防災冊子へローリングストック法の掲載（随時） 	<ul style="list-style-type: none"> 食育関連事業等を活用し、食品ロス削減について周知を行う。 ①食育月間（6月）の食育展でポスター掲示とフードドライブを実施する。 ②幼児健診会場でポスター掲示による周知を行う。 ③食品ロス削減につながるレシピを市ホームページで紹介する。 ④食品ロス削減推進月間（10月）に市ホームページ「ふなばしの食育」で周知する。 ⑤食品ロス削減に関する投稿をfacebookで発信する。 	<ul style="list-style-type: none"> 園児には、食の大切さと食への興味関心が持てるよう野菜栽培、食育指導を行う。また保護者に対しては、家庭での食品ロス削減に向けて情報を提供する。 【周知方法】 <ul style="list-style-type: none"> 給食日より 壁新聞 食育媒体 等 	<ul style="list-style-type: none"> 児童生徒および保護者に対し、食品ロスに関する情報提供を行う。 【時期】 <ul style="list-style-type: none"> 6月5日 環境の日 10月 食品ロス削減月間、世界食料デー月間 10月16日 世界食料デー 【方法】食育日よりや給食メモを通じた周知、啓発 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の認知度を高めるため、関係団体等と協働し、事業者へ事業PRを優先的に行う。 令和5年度事業者への制度周知を行うと同時に事業者へのヒアリングを継続して行い、よりよい制度設計を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や職場などで余った食材を集め、フードバンク団体へ寄付するフードドライブを実施することで、食品ロスの発生量を削減する。 常設化を行っている施設に関してデータ解析を行い、受付場所について検討する。 【受付場所】（常設） <ul style="list-style-type: none"> ふなばしメグスバ 市役所本庁舎4階資源循環課 【受付場所】（期間限定） <ul style="list-style-type: none"> 各公民館（26館） 【開催時期】 <ul style="list-style-type: none"> 6月 10月 2月 	<ul style="list-style-type: none"> 賞味期限のある備蓄食料品等の更新・入れ替えの際に、回収した備蓄食料品等を廃棄しないため、町会・自治会等の自主防災組織、フードバンクや市内の保育園等の希望する団体に配布する。 【主な配布先】 <ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織（町会・自治会等） 各種防災イベント 市内 フードバンク 市内保育園 等 	<ul style="list-style-type: none"> 備蓄食料品について、環境啓発における啓発物品としての活用を行うことで、環境配慮への気運を高めるとともに食品ロスの発生を防ぐ。 なお備蓄食料品の活用については、防災食料品の更新時の余剰量に応じて、イベント等で配布を行う。 ①埠頭会一斉清掃 ②ふなばし三番瀬環境学習館校外学習 ③清掃工場見学 ④夏休み親子見学会（8月） ⑤環境部所管施設（ふなばしメグスバ、ふなばし三番瀬環境学習館）利用者 ⑥エコラレッჯ受講生
実績	周知媒体数：20媒体	周知延回数：10回	周知延回数：150回	給食日より等における周知：27施設	食育日より掲載学校数：56校（67%）	認定事業者10者増	フードドライブ実施回数：3回	適宜防災備蓄品の利活用	啓発物品の活用：2イベント等	
内容	<ul style="list-style-type: none"> 食品ロスに関する説明や食品ロス削減に関する取り組みについて広く情報提供を行った。 ①市HP【常時】 ②広報ふなばし【6. 10. 2月】 ③リサちゃんだよりプラス【10月】 ④環境パネル展示【6月】 ⑤SNS(X)【6. 10. 2月】 ⑥デジタルサイネージ【6. 10. 2月】 <ul style="list-style-type: none"> 本庁舎モニター(静止画) 駅前ペDESTリアンデッキ(静止画) FACE(動画) ⑦イオン船橋店(動画) ⑧インフォメーションセンター(静止画) ⑨ふなっぶ【6. 10. 2月】 ⑩まごみ分別アプリ(さんあ〜る)【6. 10. 2月】 ⑪ふなばし情報メール【6. 10. 2月】 ※本庁舎入口メカフォト【10月】 ※公共施設での食品ロス削減パネル展【10月】 <ul style="list-style-type: none"> ふなばしメグスバ ふなばし三番瀬環境学習館 ※本庁舎1階 ※民間施設での食品ロス削減パネル展【10月】 <ul style="list-style-type: none"> イトーヨーカドー船橋店 イオン船橋店 イオン高根木戸 ※公共施設でのポスター掲示【10月】 <ul style="list-style-type: none"> 北部清掃工場 南部清掃工場 西浦資源リサイクル施設 西浦処理場 各公民館、出張所、連絡所 ※民間施設でのポスター掲示【10月】 <ul style="list-style-type: none"> 市内ゼンイレブン 市内ファミマート 東京東信倉庫船橋支店 ※YouTube【10月〜】 <ul style="list-style-type: none"> 授業補助(峰台小学校、坪井小学校) 子ども食堂ネットワーク 三番瀬クリーンアップ 食品ロス削減フェア 増設会南部清掃工場見学会 まちづくり出前講座 ※ケーブルテレビ（JCOM）【10月】 ※食育展パネル【6月】 ※環境新聞エコふなばしプラス【10月】 ※食品ロス削減チラシ【10月】 <ul style="list-style-type: none"> 東武百貨店船橋店 ※食品ロスダイアリー【10月】 <ul style="list-style-type: none"> 資源循環課 ふなばしメグスバ 	<ul style="list-style-type: none"> 食料品等の消費期限の管理を徹底し、普段の生活で消費する、「ローリングストック法」をうまく活用するなどをホームページ等で周知・啓発する。 【周知内容】 <ul style="list-style-type: none"> ローリングストック法による備蓄方法の周知 市内・自主防災組織に対して期限切れ前の備蓄品利活用に関する案内 【周知媒体】 <ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ（随時） 防災啓発講座及びイベント（随時） 自主防災組織へ案内（5月） ふなばしポータル掲示板へ掲載（随時） 市内の学校へ案内（5月） 防災冊子へローリングストック法の掲載（随時） 	<ul style="list-style-type: none"> 食育関連事業等を活用し、食品ロス削減について周知を行った。 ①食育月間（6月）の食育展でポスター掲示とフードドライブを実施した。 ②幼児健診会場でポスター掲示による周知を行った。 ③食品ロス削減につながるレシピを市ホームページで紹介した。 ④食品ロス削減推進月間（10月）に市ホームページ「ふなばしの食育」で周知した。 ⑤食品ロス削減に関する投稿をfacebookで発信した。 ⑥資源循環課によるパネル展示（10月）に食品ロス削減ポスターを出展した 	<ul style="list-style-type: none"> 各保育園において、園児には、食の大切さと食への興味関心が持てるようクラス回りの際の声掛け、栄養指導、野菜栽培、出前調理を行う。また保護者に対しては、家庭での食品ロス削減に向けて情報の提供を行った。 給食においては日頃より無駄のない発注を行っている。 【周知方法】 <ul style="list-style-type: none"> 給食日より【10月】 壁新聞【10月】 食育媒体【10月】 	<ul style="list-style-type: none"> 6月および10月に食育日よりを通じて、情報提供を行った。 	<ul style="list-style-type: none"> 既存のふなR連携事業に関して事業者（にヒアリングを行ったところ、「申請の不便さ、煩雑さ、報告の手間」が課題としてあげられたため、令和5年3月に「申請書提出時、オンライン申請システムの導入」、「内容によって異なる申請書の統一」、「原則年度末に提出する報告書の廃止」を盛り込んだ要綱改正を行った。 改正後の内容について、事業者立ち入り時や打ち合わせ時に意見を聴取したところ、「申請がスムーズに進められそう」など前向きな意見をいただいた。 事業者へ制度ヒアリングと併せて、事業PRを行ったことで食品ロスの削減の項目で認定となった事業者が10者増加した。 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭や職場などで余った食材を集め、フードバンク団体へ寄付するフードドライブを実施した。 【受付場所】 <ul style="list-style-type: none"> 各公民館（26館） ふなばしメグスバ 市役所本庁舎4階資源循環課 【開催時期】 <ul style="list-style-type: none"> ①6月（17日～30日） 回収量 409.4kg ②10月（16日～31日） 回収量 353.6kg ③2月（1日～16日） 回収量 110.06kg 【周知媒体】 <ul style="list-style-type: none"> 市ホームページ（6月、10月、2月） 広報ふなばし（フードドライブ開催：6月、10月、2月） リサちゃんだよりプラス（食品ロス削減月間：10月） SNS(X)（6月、10月、2月） デジタルサイネージ（本庁舎内モニター、各種サイネージ）（6月、10月、2月） さんあ〜る（6月、10月、2月） ふなばし情報メール（6月、10月、2月） 資源循環課とふなばしメグスバで、通年での受付を行った。 【常設】 <ul style="list-style-type: none"> 資源循環課 415.8kg ふなばしメグスバ 334.3kg 小計 750.1kg 	<ul style="list-style-type: none"> 賞味期限のある備蓄食料品等の更新・入れ替えの際に、回収した備蓄食料品等を廃棄しないため、町会・自治会等の自主防災組織、フードバンクや市内の保育園等の希望する団体に配布する。 【主な配布先】 <ul style="list-style-type: none"> 自主防災組織（町会・自治会等） 各種防災イベント 市内 フードバンク 市内保育園 等 	<ul style="list-style-type: none"> 下記のイベント等で防災備蓄品の配布を行った。 ①環境フェア ②フードバンクふなばし ※備蓄食品の在庫状況とイベントの兼ね合いで予定より少ない結果となった。 	

評価	数値目標がある取り組み（数値達成率）	進捗状況
1	100%以上	1. 予定（計画）どおり進んでいる
2	80%以上100%未満	2. 概ね予定（計画）どおり進んでいる
3	60%以上80%未満	3. あまり予定（計画）どおり進んでいない
4	60%未満	4. 予定（計画）どおり進んでいない
5	評価対象外	5. 対象外

施策番号	食品ロス 10	食品ロス 11	食品ロス 12	食品ロス 13	食品ロス 14	食品ロス 15	食品ロス 16	
事業実施状況	実施を検討する取り組み	実施を検討する取り組み	実施を検討する取り組み	実施を検討する取り組み	実施を検討する取り組み	実施を検討する取り組み	新たな取り組み	
区分	市民へのアプローチ	市民へのアプローチ	市民へのアプローチ	事業者へのアプローチ	事業者へのアプローチ	事業者へのアプローチ	未利用食品を活用するための活動の支援	
事業名	消費者講座	防災教育との連携	教科等における指導（授業展開）	事業者への指導	食品関連事業者への周知・啓発		フードバンク活動助成金	
担当課	消費生活センター	保健体育課	保健体育課、指導課	廃棄物指導課	商工振興課	農水産課	地域福祉課	
令和5年度	計画	消費者講座の開催：1回 周知延回数 4回	学校給食での活用：10校 授業での活用：8校	授業実施校： 小学校20校 中学校6校	食品衛生責任者実務講習会への参加：12回 食品営業許可新規講習会への参加：6回	食品ロス削減に資する返礼品取扱い：2品	周知団体数： 2団体	助成制度の運用
	内容	専門家による食品ロスに関する講座を開催する。 【開催時期】10月 【周知媒体】 ・広報（10月1号掲載依頼予定） ・市ホームページ（10月） ・チラシ（10月）：消費生活センターカウンターに設置 ・ふなばし情報メール（10月）	・賞味期限間際の防災備蓄食品を活用した給食メニューを実施する。 ・授業で食品ロス・防災についてとりあげる。	・学習指導要領の内容に則り、学習者の年齢や発達段階に応じて、小・中学校ともに家庭科の「B）衣食住の生活」に関する学習活動の充実を推進する。 ・教科等の指導計画に沿った食に関する指導、消費生活に関する指導を実施する。	・各講習会にて一般廃棄物の減量手法の説明を行う。 ・食品リサイクルを実施する施設へ立ち入りを行い、協働での事業実施等を検討する。	共同ビジネスマッチング事業等を通じ、事業者により食品ロスとなる見込みの食品がある場合は、フードバンクへ寄附を検討することを周知・啓発する。 またふるさと納税返礼品において、食品ロス削減に資する商品を取り扱うことを推進する。	農業者に規格外の農産物の加工やフードバンク活動に関する周知・啓発を図る。 【周知団体】 JAいちかわ JAちば東葛	市内でフードバンク活動を行う団体に対して支援物品の配送費を助成する「船橋市フードバンク活動団体助成金」を通じて、フードバンク活動を支援する。 【周知】市HP、広報ふなばし
実績	講座開催数：1回 周知延回数：4回	学校給食での活用：10校 授業での活用：8校	市内全小・中学校	食品衛生責任者実務講習会への参加：11回 食品営業許可新規講習会への参加：7回	食品ロス削減に資する返礼品取扱い：1品	周知団体数：3団体	交付決定団体数：1団体	
内容	専門家による食品ロスに関する講座を開催する。 【開催時期】10月 【周知媒体】 ・広報（10月1号掲載依頼予定） ・市ホームページ（10月） ・チラシ（10月）：消費生活センターカウンターに設置 ・ふなばし情報メール（10月）	・賞味期限間際の防災備蓄食品を活用した給食メニューを実施した。（防災備蓄クラッカーのチキンフライなど） ・授業で食品ロス・防災についてとりあげる。（4年社会「くらしをまもる」など）	・学習指導要領の内容に則り、学習者の年齢や発達段階に応じて、小・中学校ともに、家庭科の「（B）衣食住の生活」に関する学習活動の充実を推進。 【実績】学校訪問や各研修会時に各学校の取組内容の確認をし、適宜指導・支援を行った。食品ロスやSDGsについては家庭科の授業だけではなく、総合的な学習の時間や特別活動の時間でも取り上げる学校が増え、教科横断的な視点からも、学校全体での意識が高まってきている。	保健所で実施する「食品衛生責任者実務講習会」、「食品営業許可新規講習会」に参加し、事業系一般廃棄物の適正処理、減量、食品ロスの削減に関する説明を行った。更なる食品ロス削減の推進を行うため、千葉県にて作成した「食べきり運動」を推進する卓上POPの配布を行った。 市内事業系一般廃棄物回収運搬業者が搬入する食品リサイクル施設の現地確認を行った。 市での施設PRの可否を確認し、食品リサイクルの効果的なPRについて検討を進めていく。	食品ロス削減に資する返礼品として下記の品を取り扱っている。 ・梨シードル（株式会社アデカ） 外見や食感が悪くなったことにより廃棄されていた梨を使ったシードルを生産することで、食品ロスの削減に繋がった。 また、共同ビジネスマッチング登録事業者向けに、食品ロスの解消に繋がる取り組みへの呼びかけや新規返礼品の募集について周知を行った。	以下の団体に規格外の農産物の加工やフードバンク活動に関する周知を行った。 なお、船橋農業青少年クラブは食品ロス削減フェアに参加した。 ・JAいちかわ ・JAちば東葛 ・船橋市農業青少年クラブ	市内でフードバンク活動を行う団体に対して支援物品の配送費を助成する「船橋市フードバンク活動団体助成金」の申請団体を募集し、申請のあった1団体に対して交付決定した。 【周知】市HP、広報ふなばし（令和5年5月15日号）	
評価	1	2	1	2	1	1	1	

評価	数値目標がある取り組み (数値達成率)	進捗状況
1	100%以上	1. 予定（計画）どおり進んでいる
2	80%以上100%未満	2. 概ね予定（計画）どおり進んでいる
3	60%以上80%未満	3. あまり予定（計画）どおり進んでいない
4	60%未満	4. 予定(計画) どおり進んでいない
5	評価対象外	5. 対象外